

# 2022年12月期 第3四半期 個人投資家向け決算説明会

---

YCP Holdings (Global) Limited  
2022年11月14日





# アジェンダ

はじめに

各事業のご紹介：マネジメントサービス事業

各事業のご紹介：プリンシパル投資事業

2022年12月期 第3四半期 全社業績

FY2022通期 通期業績予想

質疑応答

はじめに

---





# 自己紹介



## 石田 裕樹 取締役兼グループCEO

- コーネル大学 工学部 卒業
- 東京大学大学院工学系研究科 修了
- 2006年、ゴールドマン・サックス証券株式会社入社。戦略投資部、マーチャント・バンキング部門 (REPIA及びPIA) において、債券・不動産・未公開株式への投資と、企業再生実務を担当
- 2011年に当社グループを創業
- 2014年、ホールディング化に伴い、当社グループの取締役兼グループCEOに就任



# 当社グループの歩み

2022年 春期スクラム  
(東京)



2019年 春期スクラム  
(ミャンマー)



2018年 Solidiance社と経営統合



2012年 戦略会議にて  
海外進出方針を決定



2011年 創業初期



2019年 東南アジア地域のオフサイト





# 会社概要

## YCPグループ概要

持株会社商号	YCP Holdings (Global) Limited (東京証券取引所グロース市場: 9257)
持株会社住所	3 Fraser Street, DUO Tower #05-21, Singapore
グループ事業	1. マネジメントサービス事業 2. プリンシパル投資事業
グループ設立	2011年8月
持株会社資本金	35,422,430米ドル
グループ代表者	石田 裕樹
グループ社員数	プロフェッショナル数: 253名 投資先を含む総社員数: 511名

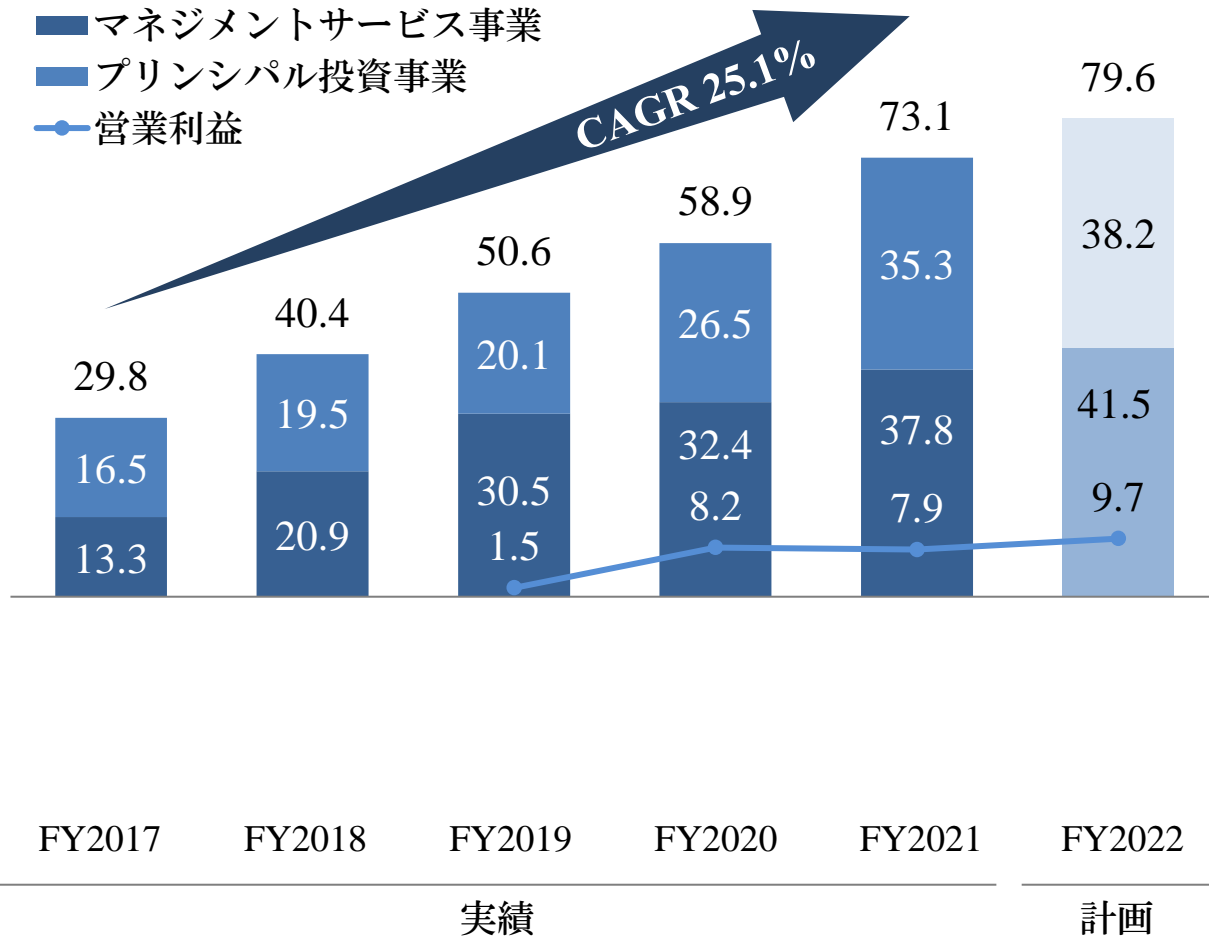
## グローバル拠点



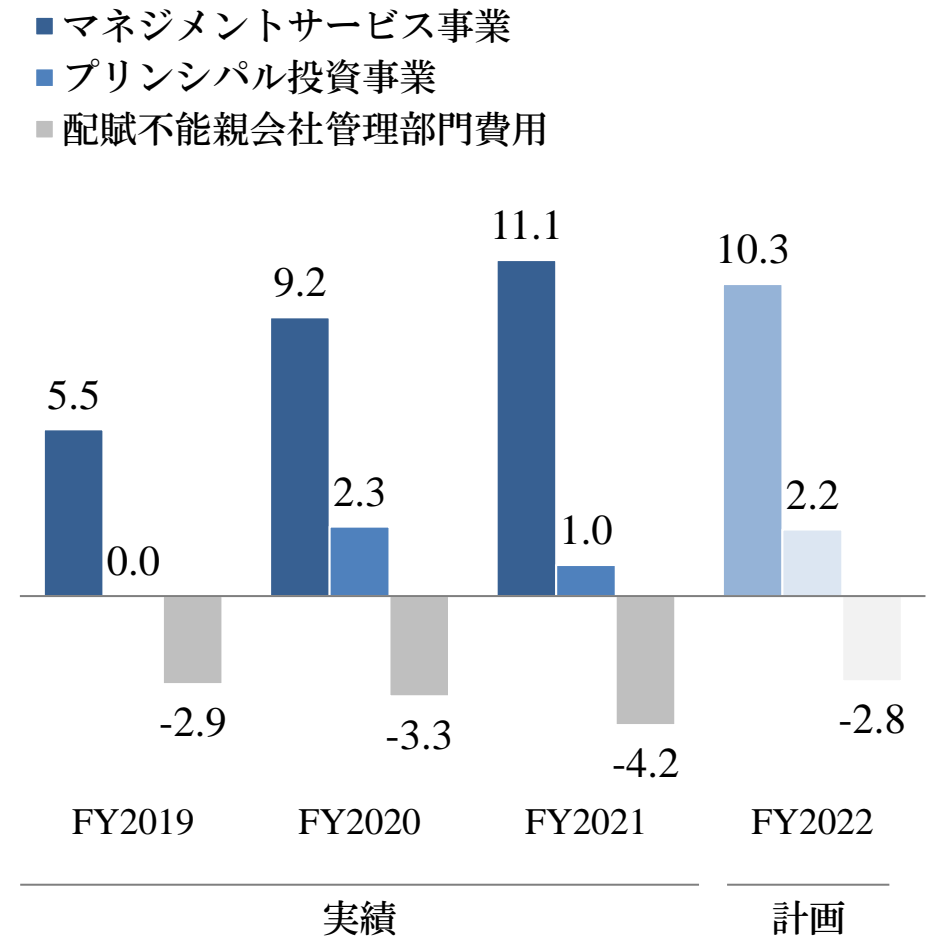


# 創業10年で売上84.1億円\*、営業利益9.1億円\*を達成

## 売上収益・営業利益推移 (百万米ドル)



## セグメント損益推移 (百万米ドル)



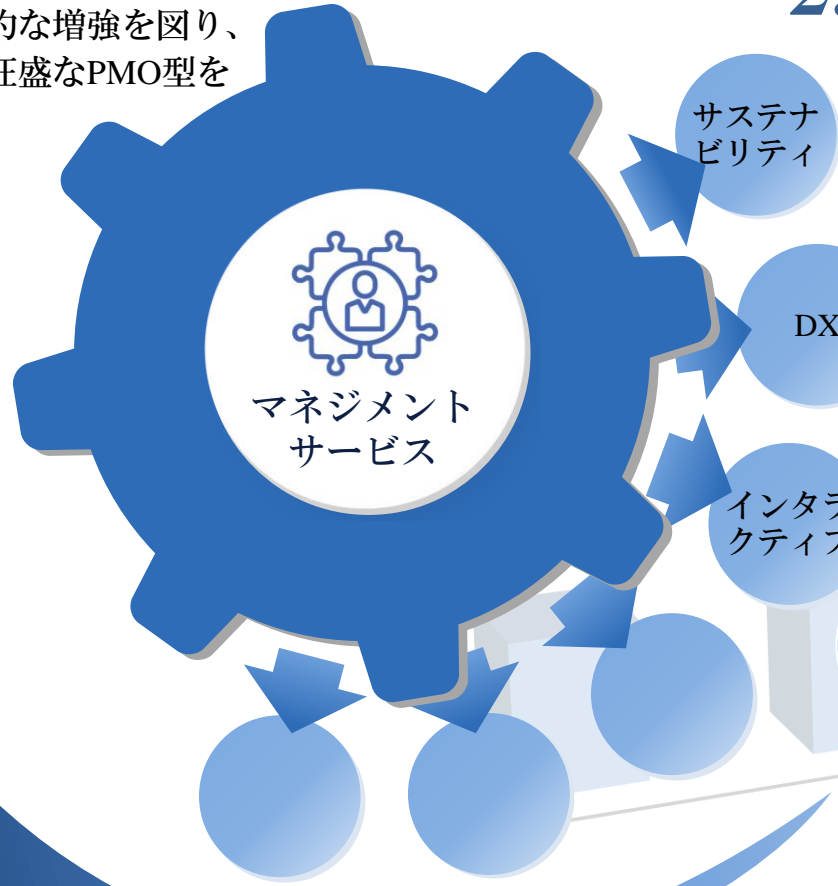
\* 日本円への換算は、1ドル = 115.02円 (2021年12月30日の為替レート) により計算



# グループ全体の成長戦略

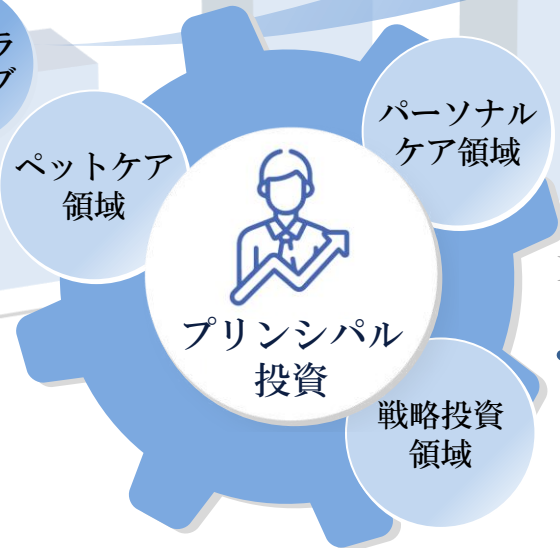
## 1. マネジメントサービス事業のオーガニック成長

人員体制の継続的な増強を図り、国内外で需要の旺盛なPMO型を継続的に獲得



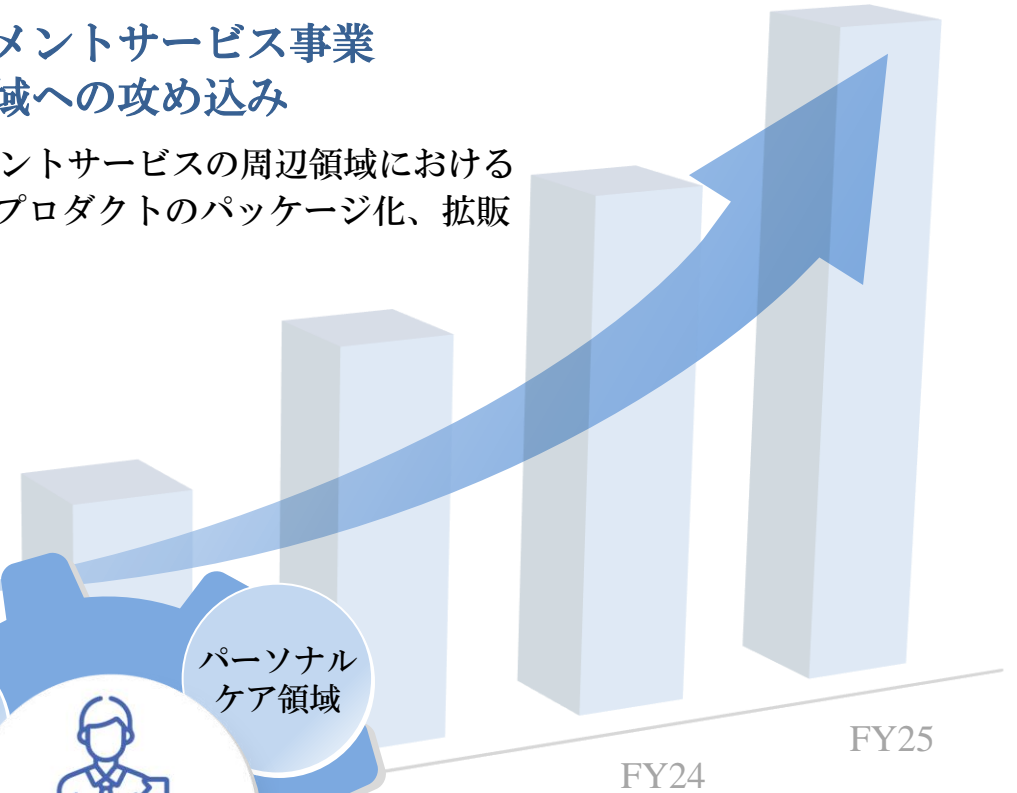
## 2. マネジメントサービス事業 周辺領域への攻め込み

マネジメントサービスの周辺領域におけるB2B向けプロダクトのパッケージ化、拡販



## 3. プリンシパル投資事業によるグループの成長加速

既存事業の強化に加え、DXやM&Aという観点で、アジア全域を対象とした積極的な新規投資シーズの発掘





# 各事業のご紹介： マネジメントサービス事業

---



# マネジメントサービス事業のご紹介

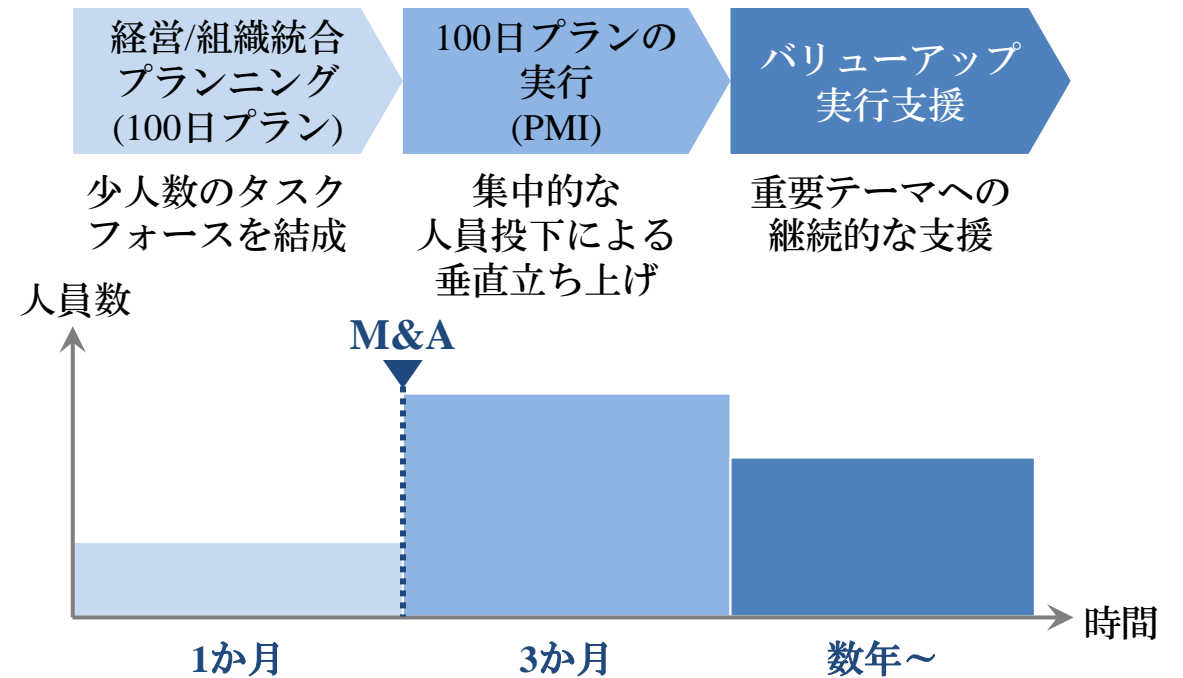
YCP Solidianceのブランドで展開するマネジメントサービス事業では、M&AやDX導入をテーマにした現場常駐型 (PMO型) の経営支援サービスをアジア全域で提供し、事業部売上の約8割を占める

## PMO (Project Management Office) とは



M&AやDX導入など大きな企業変革を伴う際に、部門を横断して柔軟に実行支援をサポートする特務組織

## M&AにおけるPMO支援のイメージ



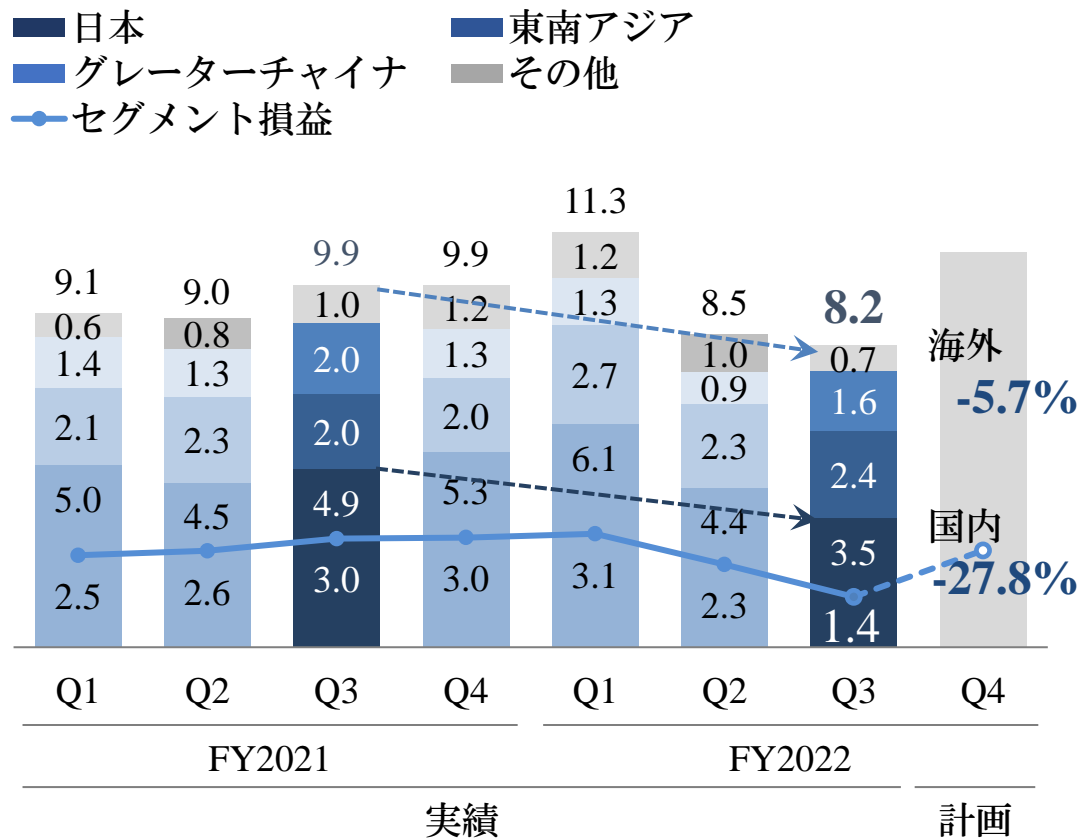
M&A実行の1か月前から支援を開始し、PMOとして長期に渡って常駐型での支援を継続

# マネジメントサービス事業：第3四半期業績

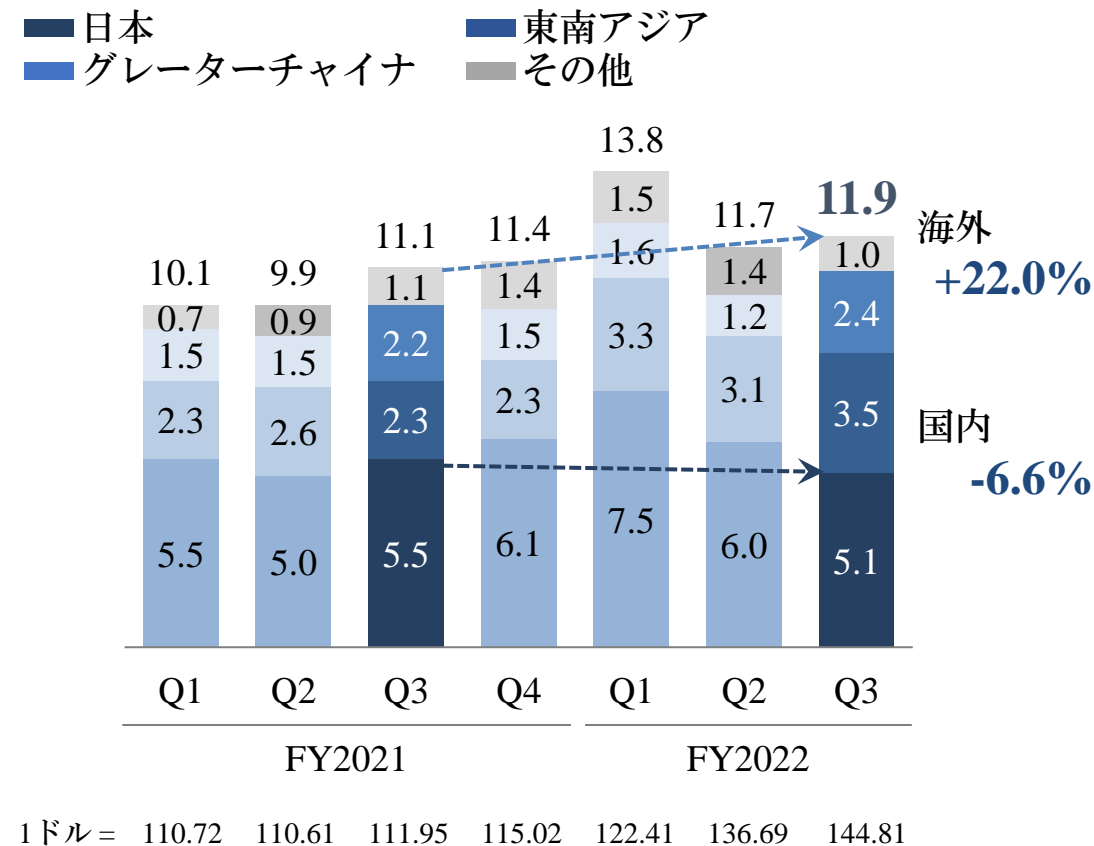


加速する円安の影響で国内は米ドルベースで減収となったが、現地通貨ベースでは-6.6%と軽微な減収に留まる。後述するオークタス社との経営統合により、さらなる事業強化を狙う

## 業績推移 (百万米ドル)



## (参考) 日本円ベースでの地域別売上収益推移\* (億円)



\* 日本円への換算は、各期末時点の米ドルと円の為替レートを適用



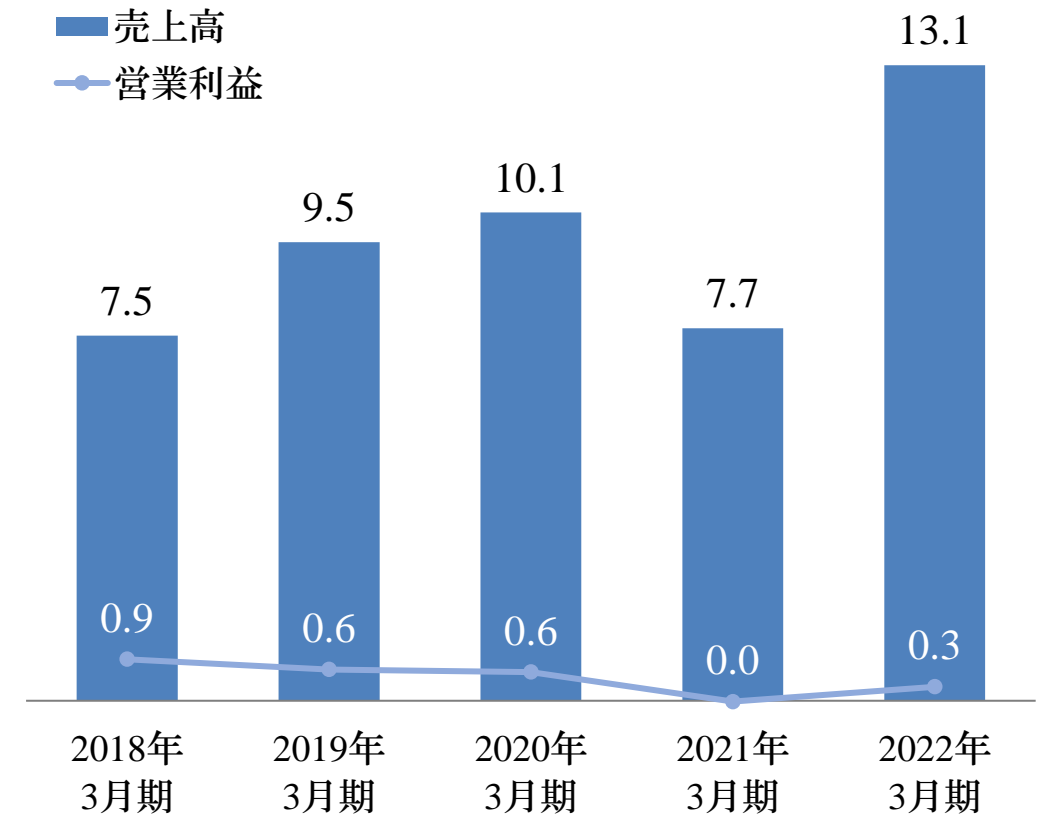
# オークタス社の完全子会社化（11月予定）

2022年11月に、PMO・DXに強みを持つインド発の独立系コンサルティングファームであるオークタス社の完全子会社化を実施。これにより世界15拠点・約250名から、世界18拠点・約380名体制へと拡大

## オークタス社の概要

名称	Auctus Advisors Private Limited
設立	2010年7月
拠点	インド国内4拠点 (Delhi, Bangalore, Mumbai, Hyderabad)
従業員数	125名 (2022年10月31日時点)
グループ事業	経営コンサルティングサービス及びDXソリューションの提供
主要取引先	<ul style="list-style-type: none"> <li>Delhi International Airport Pvt Ltd</li> <li>Mahindra Holidays and Resorts India Pvt Ltd</li> <li>Talace Private Limited</li> <li>GMR Airports Limited</li> <li>AirIndia Limited</li> </ul>

## オークタス社の業績推移 (億円\*)



\* 日本円への換算は、1インドルピー=1.8円 (2022年10月31日の為替レート) により計算

# 各事業のご紹介： プリンシパル投資事業

---





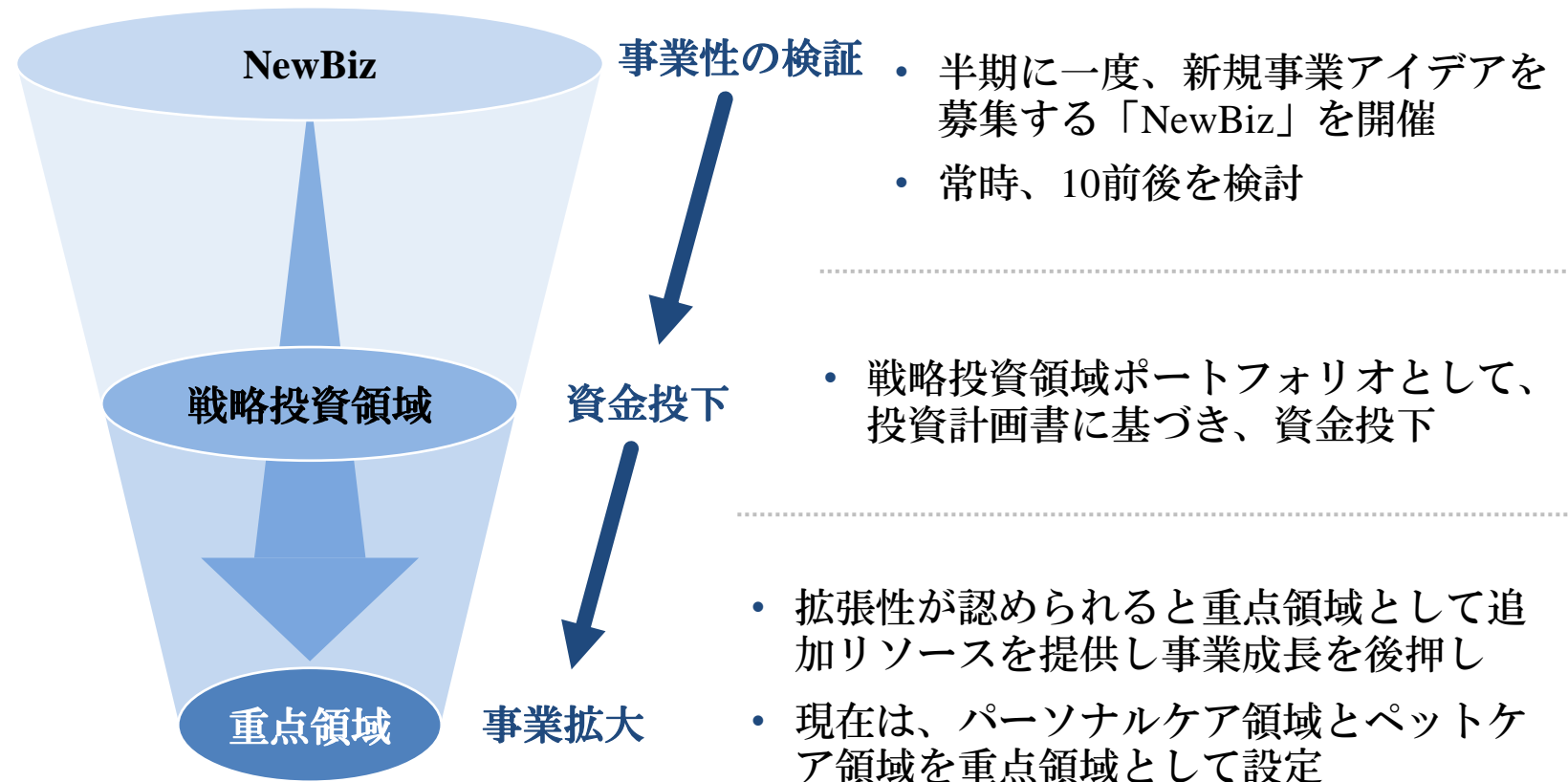
# プリンシパル投資とは

マネジメントサービス事業を通じて培った経営人材のプラットフォームを活用し、中小 / 新興企業に対して自己資金を投下

## 投資要件

1. 売上100百万米ドル以上の事業規模が見込まれる
2. グローバル展開が可能
3. 投資規模が借入を含めて20百万米ドル以下
4. 30%以上のIRR (内部収益率)
5. 「Strive for Growth」を実現できる良い学びの機会

## プリンシパル投資事業の立ち上げから拡大までの流れ



# パーソナルケア領域のご紹介

パーソナルケア商材をアジア全域で展開。オンラインで直接販売を行うD2Cモデルを採用し、当社のグローバルプラットフォームを活かし、海外へも積極展開

## 主要ブランド



## 事業戦略



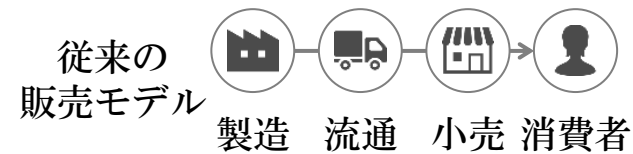
DX



クロスボーダー



### SOLIAのD2Cモデル



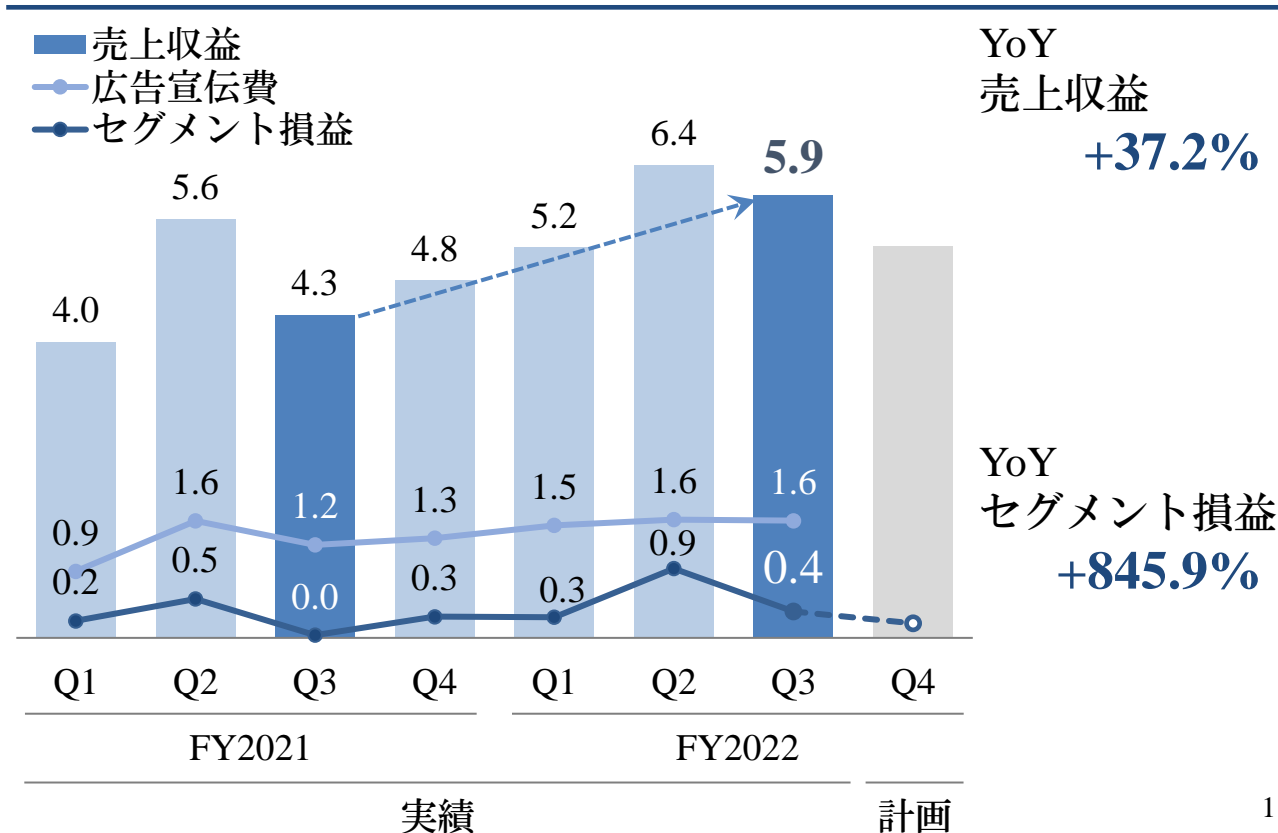
### ALOBABYの海外展開の経緯



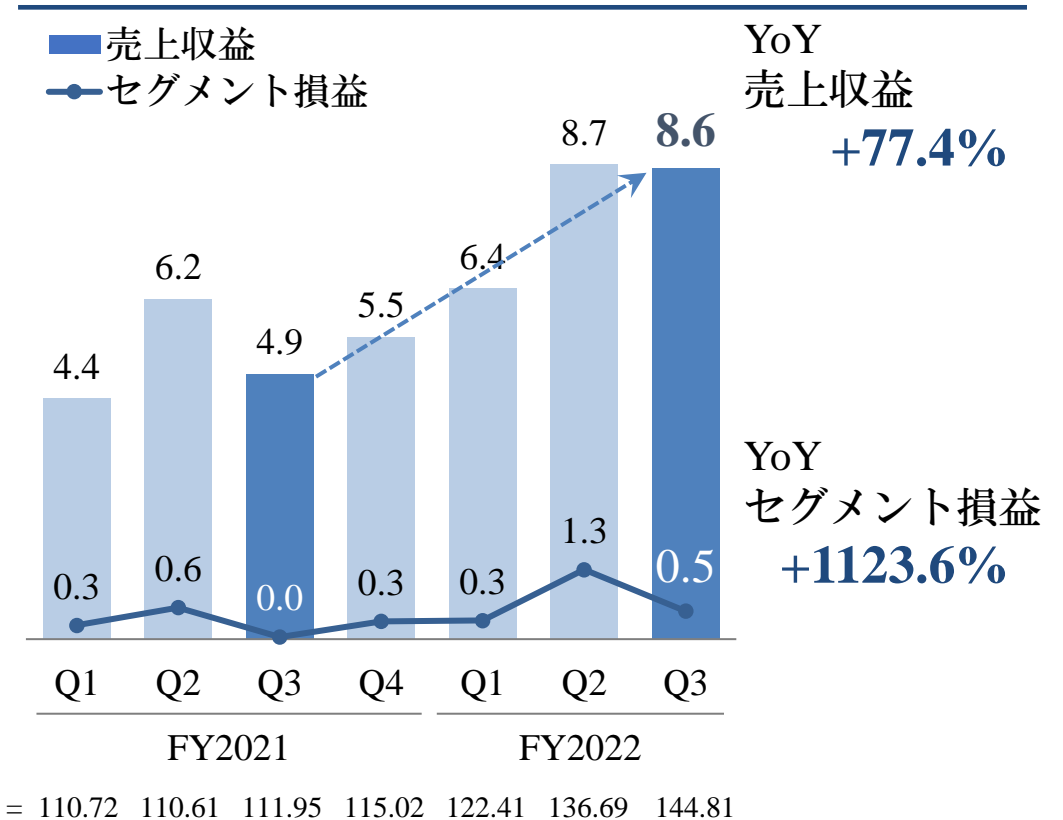
# パーソナルケア領域：第3四半期業績

「ALOBABY」「AMBiQUE」の主要ブランドが順調に拡大。トップライン拡大を狙う広告宣伝費の積極投下は維持しながらも、ボトムラインで安定的な利益貢献ができる状態にまで成長

業績推移 (百万米ドル)



(参考) 現地通貨ベースでの業績推移\* (億円)



\* 日本円への換算は、各期末時点の米ドルと円の為替レートを適用





# ペットケア領域のご紹介

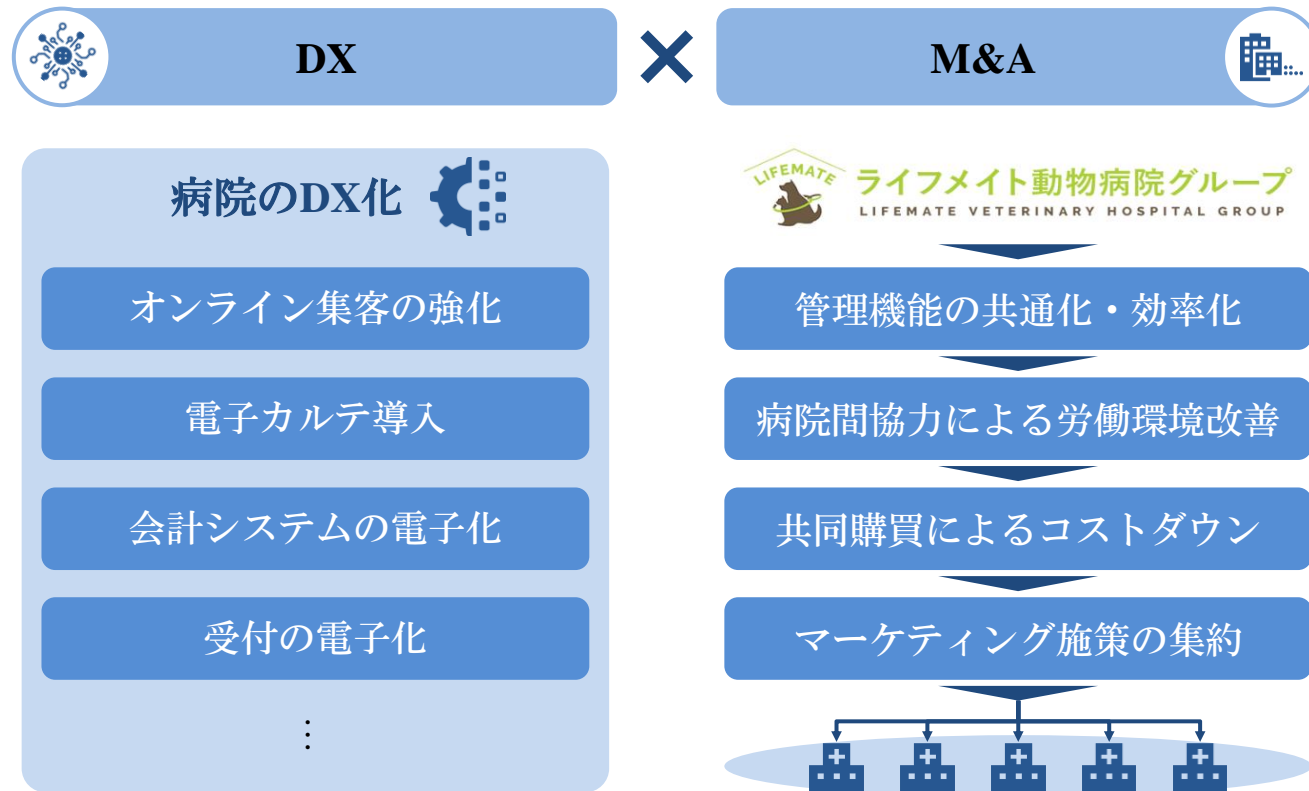
事業承継による複数動物病院のグループ化、および承継先病院のDX化を通じて事業をスケール

## 動物病院の運営



現在は、関東及び北海道において9病院を運営。常時複数のM&A案件を検討している

## 事業戦略



# 2022年7月、高度医療病院の事業を承継

売上15億円 (2021年通期) の大型動物病院グループを株式会社アニマルメディカより承継

## (株)アニマルメディカの事業内容

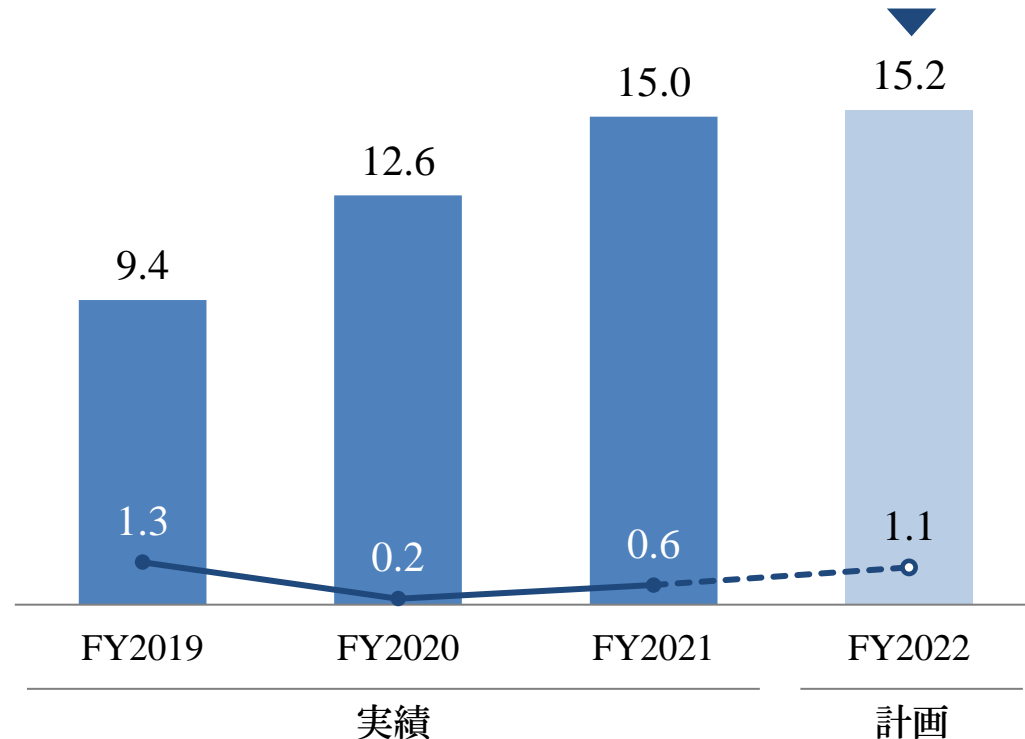


練馬、文京、府中、八王子と東京都内で4病院を運営。緊急手術対応や、CT・MRI・ICU装置など最新の医療設備を備え、動物向けの高度医療である二次診療を提供する

## (株)アニマルメディカの業績推移 (億円)

■ 売上高  
● 営業利益

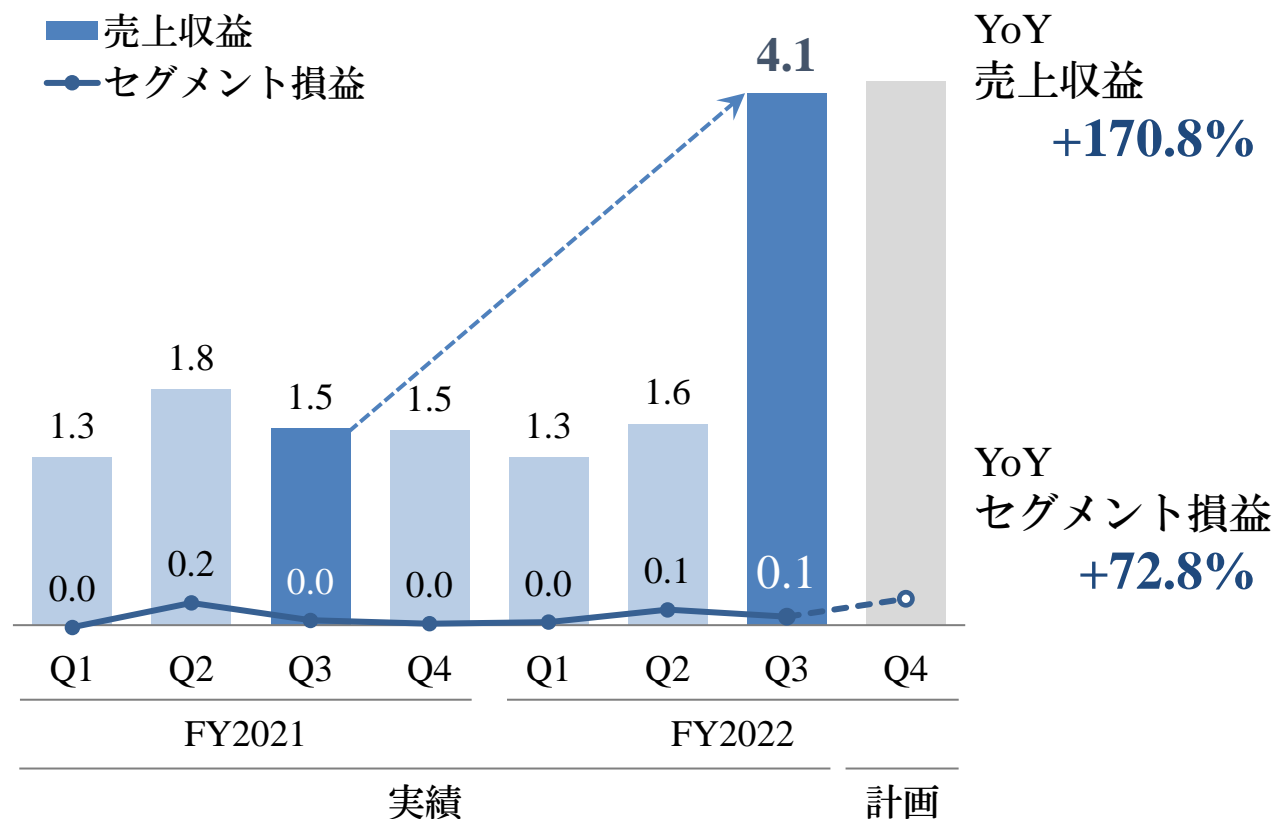
当社グループへの業績貢献は7月以降で売上7.6億円、営業利益0.6億円を見込む



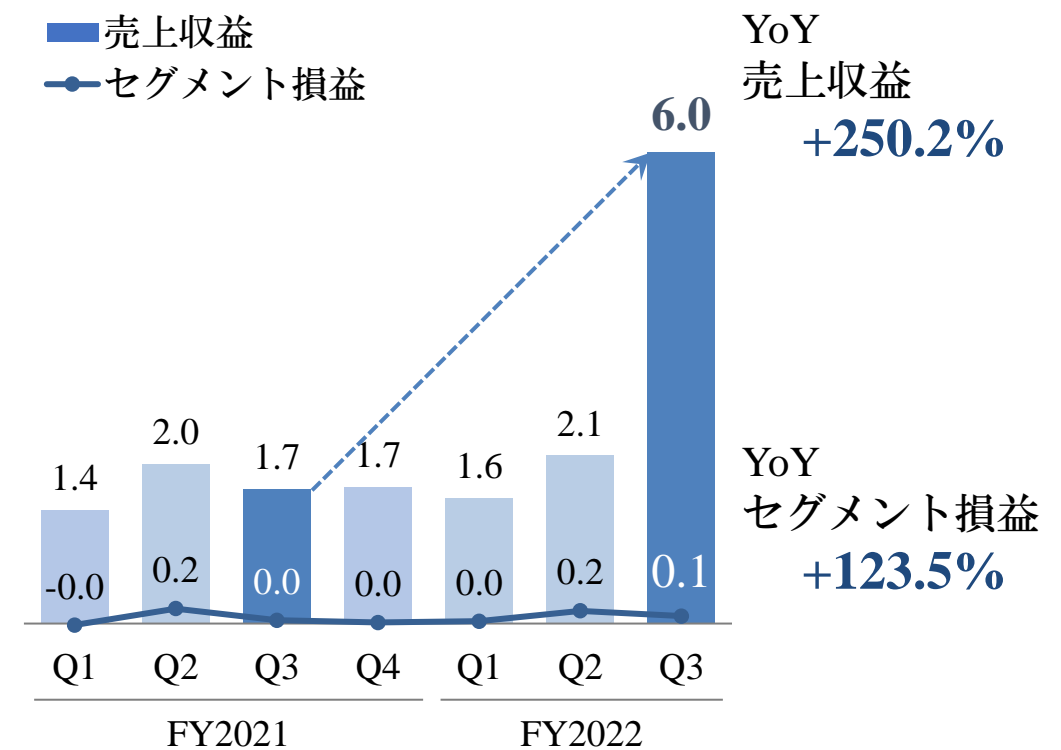
# ペットケア領域：第3四半期業績

2022年7月に実施したアニマルメディカ承継により、大幅な増収増益を達成

## 業績推移 (百万米ドル)



## (参考) 現地通貨ベースでの業績推移\* (億円)



\* 日本円への換算は、各期末時点の米ドルと円の為替レートを適用



# 戦略投資領域のご紹介

将来の重点領域となるべきビジネスシーズに対しても、戦略投資領域として積極的に投資を実行。  
主には、シンガポール及び香港における日本食レストランや、シニア向けサービス等を展開

## 飲食領域



## GO Food



## シニア領域



「食を通じて、世界中の人々により多くの笑顔届けたい」という  
ミッションのもと、調理プロセスの最適化、徹底的なオペレーション  
の効率化を行い、ハイクオリティな日本食ブランドを海外へ展開

管理不要・後継者不要・宗派不問  
の自動搬送式納骨堂の販売事業を  
展開



# 2022年9月、株式会社ARUKIを完全子会社化

これまで当社が25%の持分を保有していた株式会社ARUKIの全株式を取得。北海道で海鮮居酒屋「海味はちきょう」等の飲食事業を展開し、コロナ規制の緩和を受け業績は急回復。今後大きな収益貢献を見込む

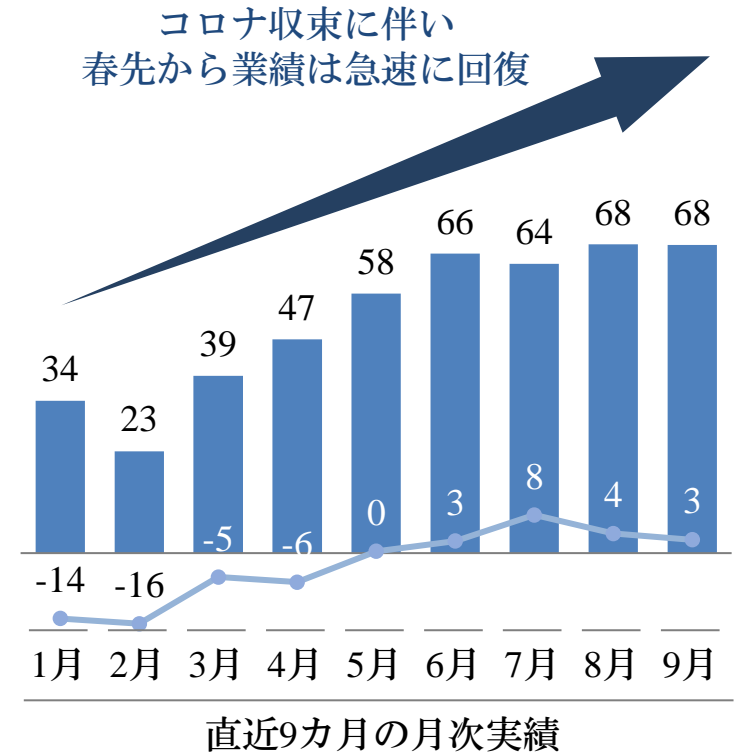
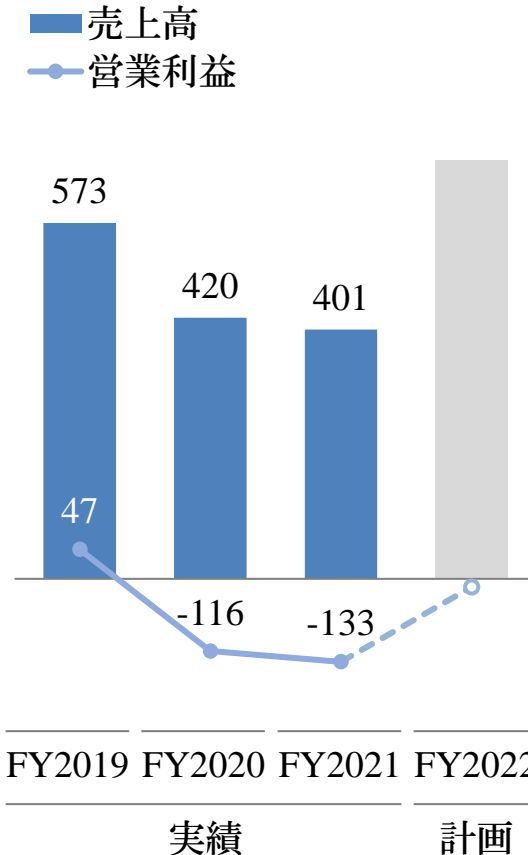
## (株) ARUKIの事業内容

海味  
**はちきょう**



いくら丼の「つつこ飯」で有名な「海味はちきょう」(道内5店舗)の他、おまかせコースのみを提供する「mare八響」、蟹味噌ラーメンを提供する「クラブギャング」など複数の飲食ブランドを展開

## (株) ARUKIの業績推移 (百万円)

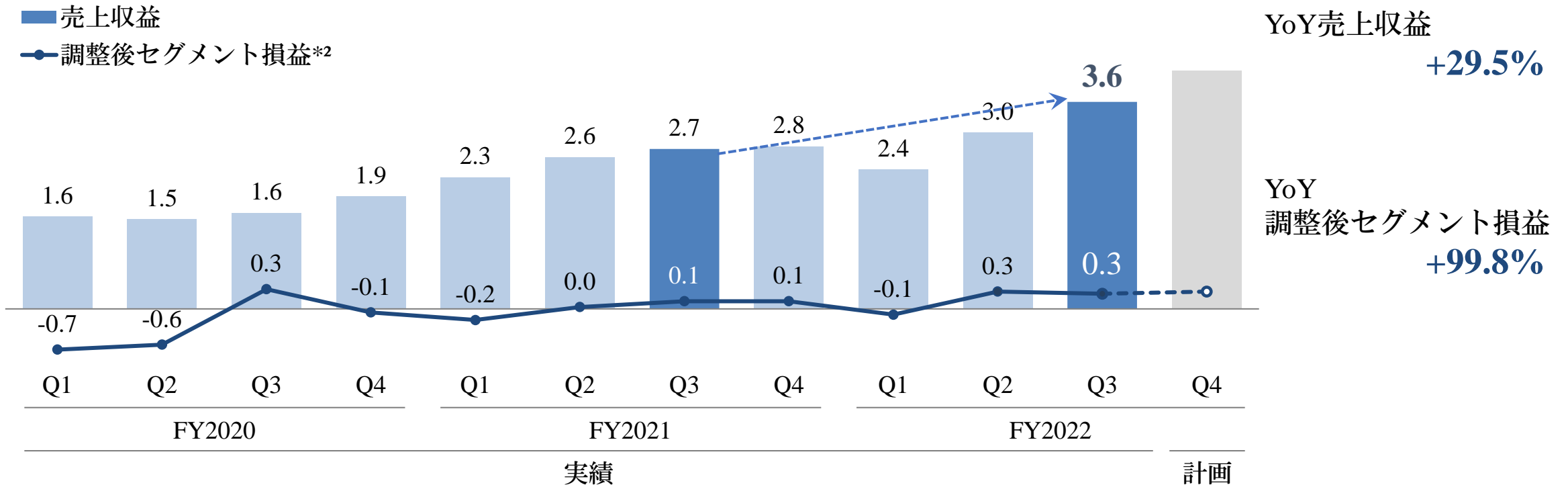




# 戦略投資領域：第3四半期業績

脱コロナの影響で国内外いずれも飲食事業の業績が大幅に改善していることに加え、2022年9月に実施した株式会社ARUKIの子会社化による業績貢献もあり、大幅な増収増益を達成。なお、保有するアイペット株の評価益1.2百万米ドル (1.7億円\*<sup>1</sup>) 等を含んだセグメント損益は1.4百万米ドル (2.1億円\*<sup>1</sup>) となった

## 業績推移 (百万米ドル)



\*1：日本円への換算は、1ドル=144.81円(2022年9月30日の為替レート)により計算

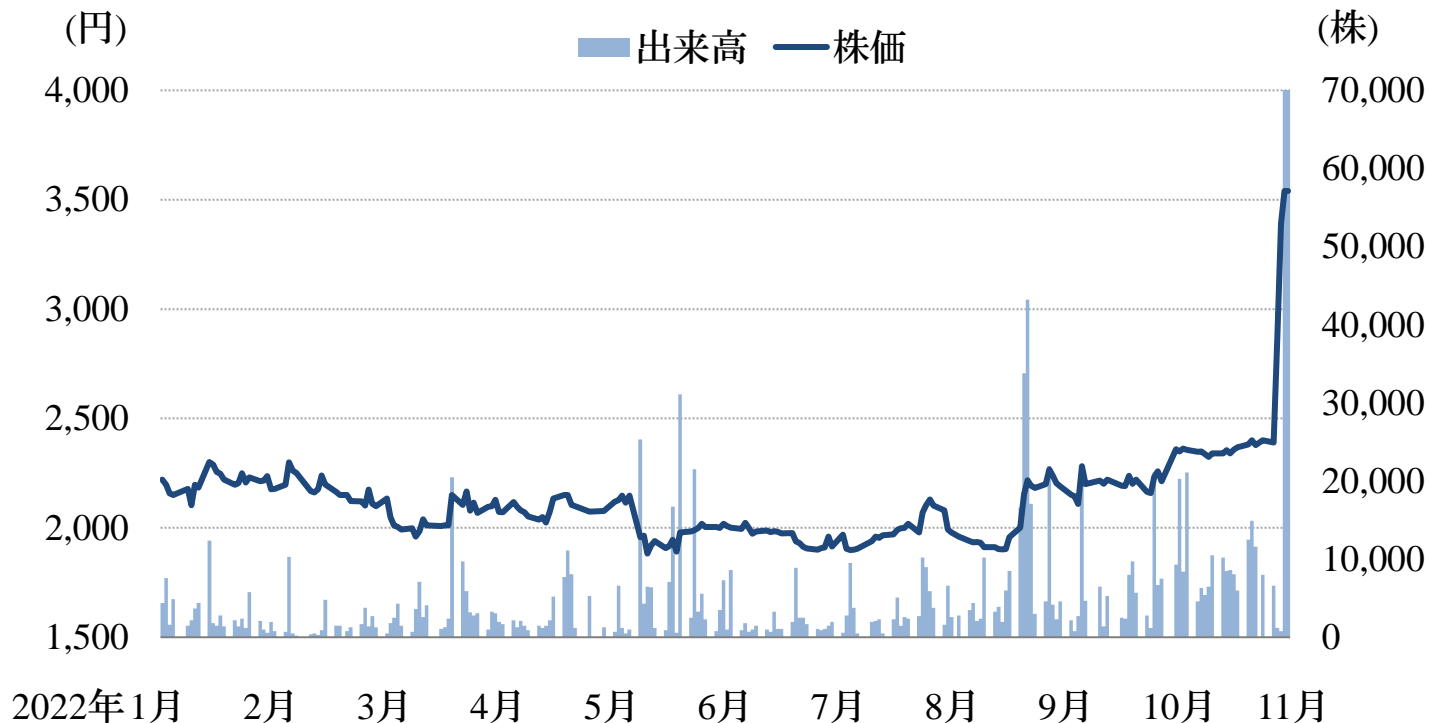
\*2：調整後セグメント損益=子会社及び事業の売却損益や金融資産の評価損益、バーゲン・パーチェスによる利得など、本業以外の活動による一過性の非資金取引を除外したセグメント損益



# アイペット株公開買い付けに関するお知らせ

当社が保有するアイペットホールディングス株式会社（以下、「アイペット」）の全株式について、第一生命ホールディングス株式会社を実施する公開買い付けに応募することを決議し、投資有価証券売却益として特別利益を計上する見込みとなりましたので、お知らせいたします

## アイペット (証券コード：7339) 株価推移



## 本TOB応募に関する詳細情報

保有株式数	468,000株
応募予定株式数	468,000株
買い付け価格	3,550円
売却予定総額	16.6億円
当初投資金額*1	1.5億円
FY22期初時点の評価額*2	10.2億円

\*1：2016年3月

\*2：2021年12月29日のアイペット株価2,177円に基づく評価額

# 2022年12月期 第3四半期 全社業績

---



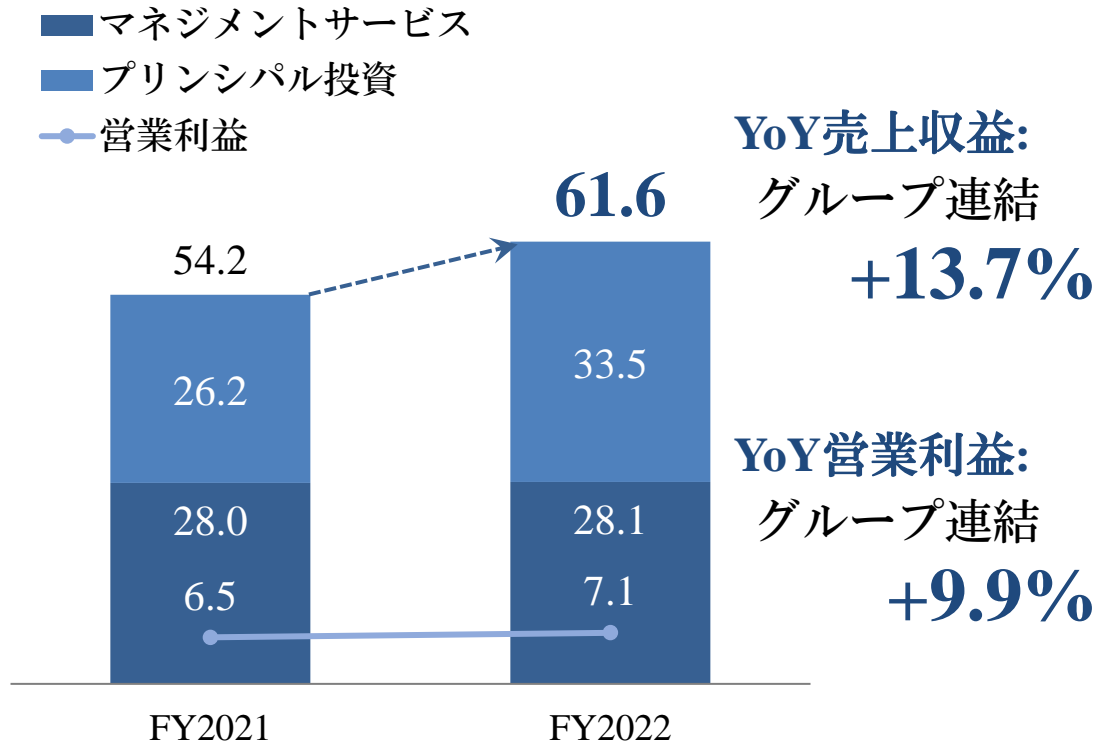




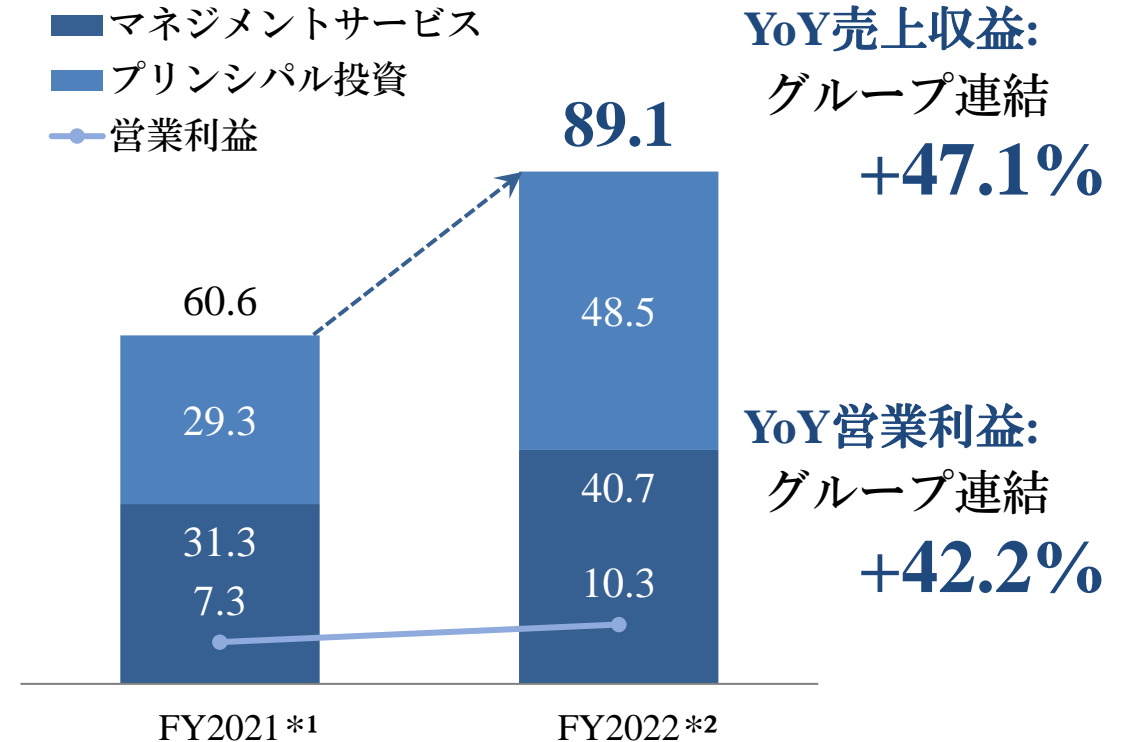
# 2022年12月期 第3四半期 全社業績

FY2022上期は、売上収益は+13.7%の増収。プリンシパル投資事業の好調により、米ドルベース・日本円ベースいずれもグループ連結で大幅な増収増益を達成

## 業績推移 (百万米ドル)



## (参考) 日本円ベースでの業績推移 (億円)



\*1: 2021年9月30日の為替レート (1ドル = 111.95円) を使用した前年度の円貨ベースでの業績

\*2: 2022年9月30日の為替レート (1ドル = 144.81円) を使用した今年度の円貨ベースでの業績

# 2022年12月期 通期業績予想

---

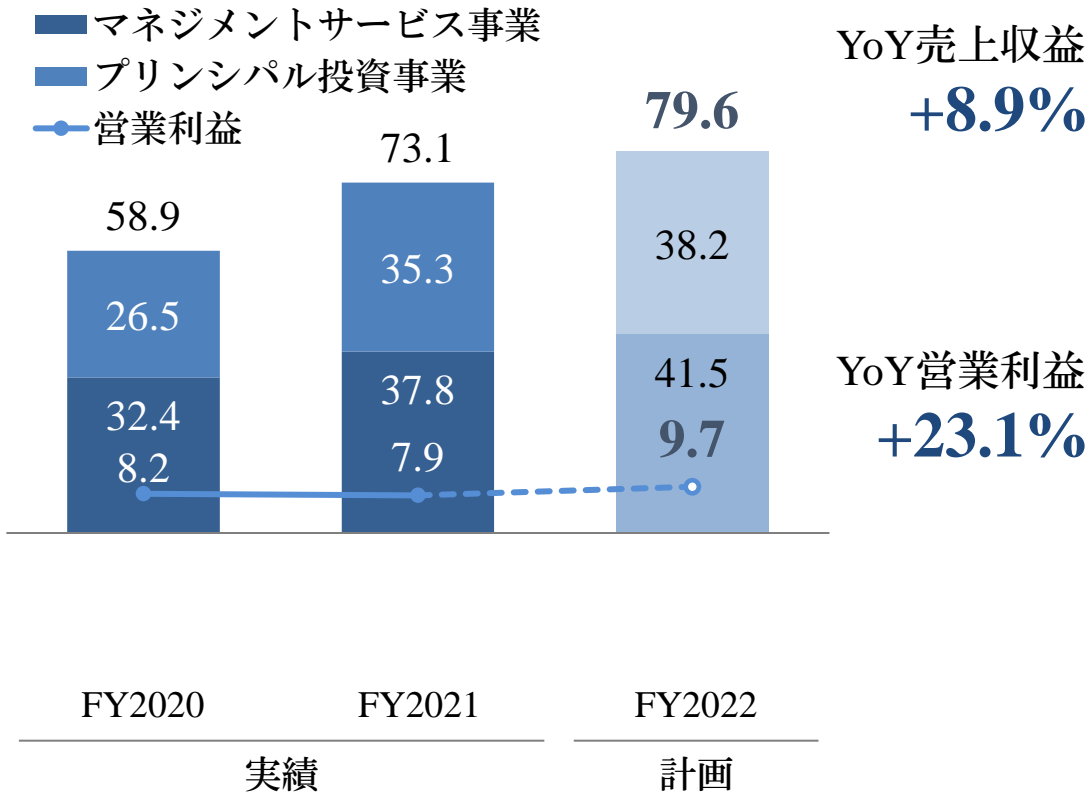




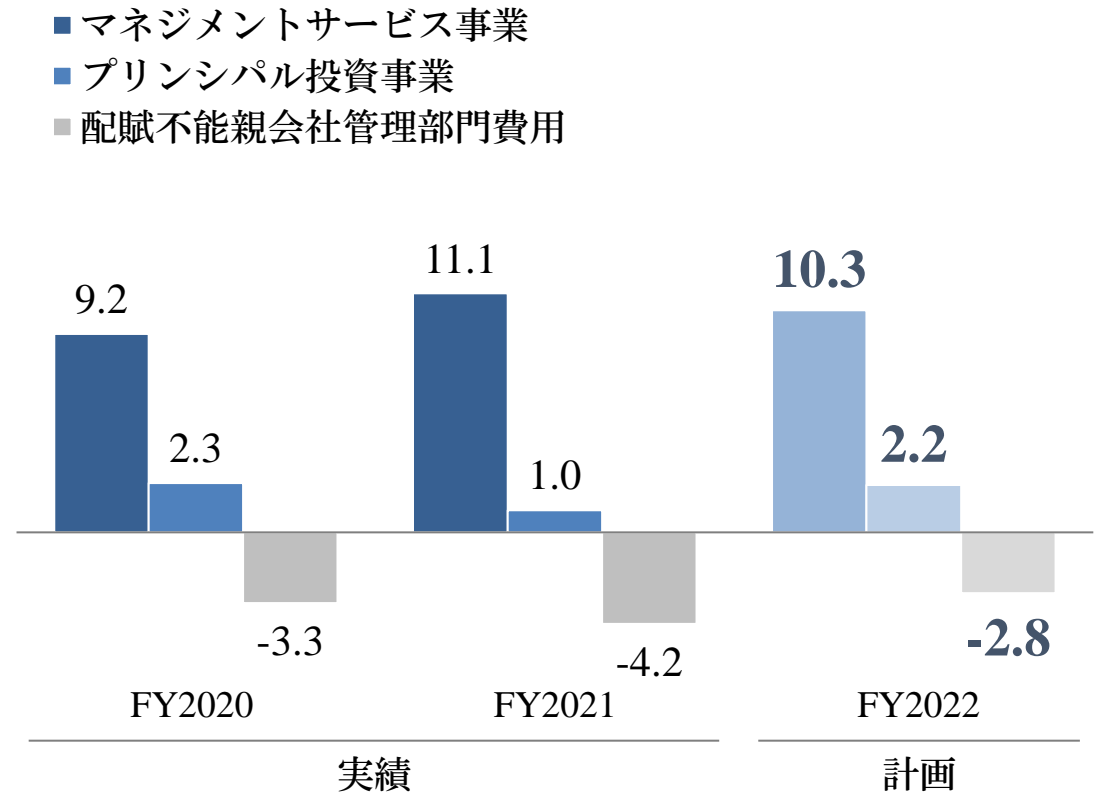
# 2022年12月期 通期業績予想

FY2022通期グループ連結業績は、期初において売上収益79.6百万米ドル (115.3億円\*)、営業利益9.7百万米ドル (14.0億円\*) を開示。引き続き急激な円安の影響は大きいものの、新たに買収したオークタス、ARUKI、アニマルメディカ等の業績貢献も含め、米ドルベースでの期初業績予想を維持

## 売上収益・営業利益 (百万米ドル)



## セグメント損益 (百万米ドル)



\*日本円への換算は、1ドル = 144.81円 (2022年9月30日の為替レート) により計算



# 上場調達資金使途の変更に関するお知らせ

2021年12月の新規上場にて調達した資金32.1億円\*1について、オークタス社の買収資金に充当することが当社グループの一層の利益貢献につながるという判断の下、以下の通り資金使途を変更いたします

## 変更前

具体的な資金使途	支払予定時期	金額 (億円)
パーソナルケア領域での 広告宣伝費等	2022年12月期 2023年12月期	5.6 6.0
ペットケア領域での事業投資	2023年12月期まで	20.0
マネジメントサービス事業の 採用・教育費用及び人件費	2022年12月期以降	0.5
合計		32.1

## 変更後

具体的な資金使途	支払予定時期	金額 (億円)
パーソナルケア領域での 広告宣伝費等*2	2022年12月期 2023年12月期	- -
ペットケア領域での事業投資*3	2023年12月期まで	15.0
マネジメントサービス事業の 採用・教育費用及び人件費	2022年12月期以降	3.5
マネジメントサービス事業での 「オークタス」買収資金	2022年11月	13.7
合計		32.1

\*1：2021年12月21日の新規上場にて調達した資金、及び2022年1月17日にオーバーアロットメントによる募集で調達した資金の合計

\*2：自己資金にて全額を充当予定

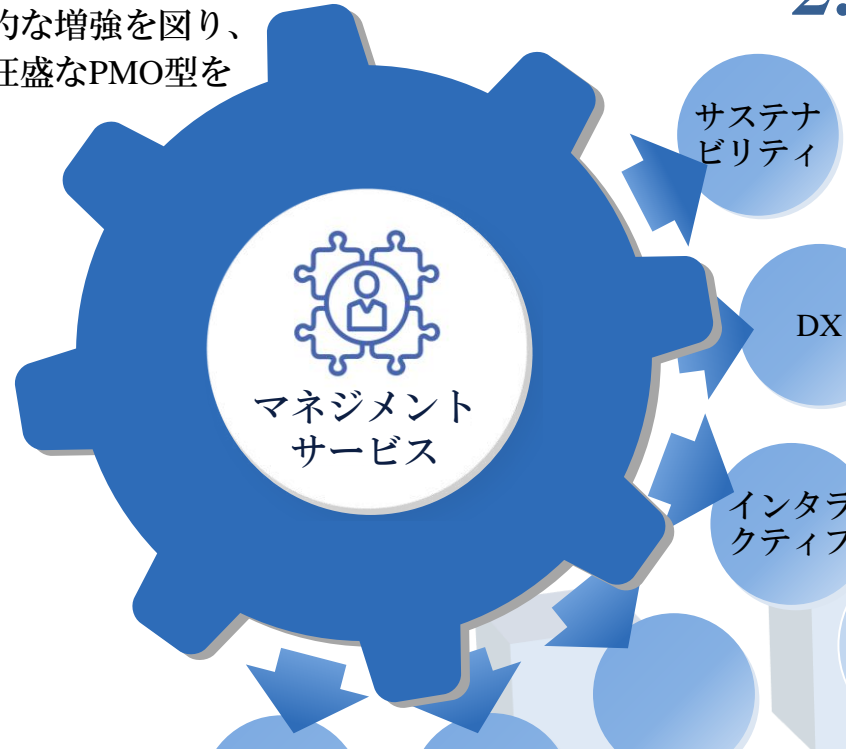
\*3：既存の自己資金及び借入にて一部を充当予定。また、ペットケア領域での事業投資15億円については、2022年6月に充当した7億円を含む



# グループ全体の成長戦略

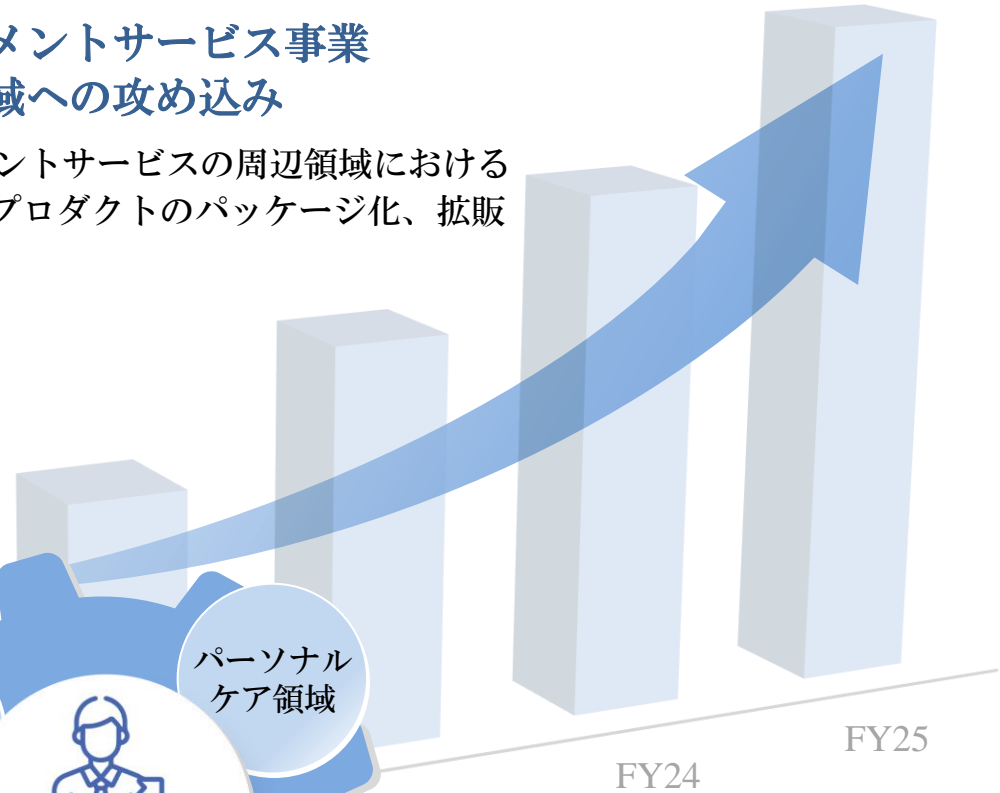
## 1. マネジメントサービス事業の オーガニック成長

人員体制の継続的な増強を図り、  
国内外で需要の旺盛なPMO型を  
継続的に獲得



## 2. マネジメントサービス事業 周辺領域への攻め込み

マネジメントサービスの周辺領域における  
B2B向けプロダクトのパッケージ化、拡販



## 3. プリンシパル投資事業による グループの成長加速

既存事業の強化に加え、DXやM&Aという  
観点で、アジア全域を対象とした積極的な  
新規投資シーズの発掘

# 質疑応答

---





# IRニュースレターのご案内

当社グループの最新IR情報をお届けいたします。

ぜひ、当社ホームページ (<https://ycp.com/ja>) の「IRトップ」ページから  
ご登録ください。

IRトップページへのURLリンク：

<https://ycp.com/ja/investor-relations/ir-top>

**IRニュースレターのご購読はこちらから**

YCP Holdingsの投資家向けレポートや最新情報をお届けします。

氏名

メールアドレス

購読する →

当社グループは、個人情報の保護に配慮しています。詳細は[プライバシーポリシー](#)をご確認ください。

# Appendix

---

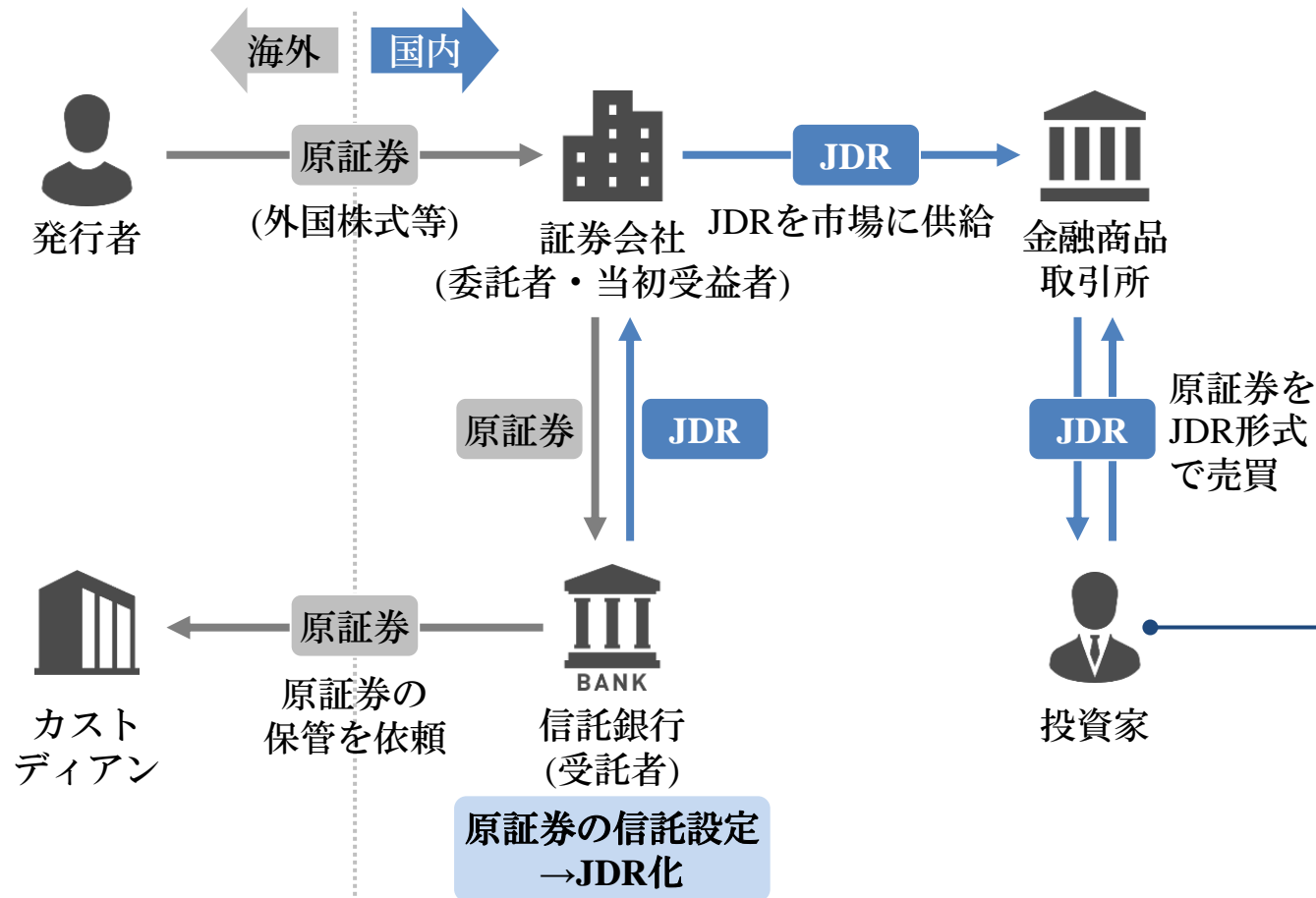






# JDR (日本型預託証券) とは

## JDRの発行スキーム\*



## JDRのポイント

取引	<ul style="list-style-type: none"><li>• 全国の証券会社を通じて売買可能</li><li>• 特定口座の取引対象となり、外国証券取引口座の開設も不要</li><li>• 日本円による決済・分配金受け取り</li><li>• 税制も国内株式と同様</li></ul>
株主総会	<ul style="list-style-type: none"><li>• 発行会社の株主はJDR受託者(信託銀行)となるため、JDR投資家は、株主総会には出席できないが、発行会社実施するJDR投資家説明会等で対話が可能</li></ul>
議決権行使	<ul style="list-style-type: none"><li>• JDR投資家は原株式の議決権を直接行使することはできないが、JDR受託者に対して議決権の行使指図を行うことにより、間接的に議決権を行使することが可能</li></ul>

\*日本取引所グループホームページ掲載のJDRの発行スキーム(例)より引用。 <https://www.jpx.co.jp/equities/listing-on-tse/new/basic/05.html>

